

区分・種別	県指定無形民俗文化財		
名称	あおしま ぼんおど 青島の盆踊り		
所在地	大洲市長浜町青島		
所有者		保護団体	青島盆踊り保存会
指定年月日	昭和40年4月2日 県無形文化財	昭和52年1月11日	県指定替え
解説	<p>この踊りは、伊予灘の海上に浮かぶ青島で、8月14・15日の両日、夜を徹して演じられた盆踊りである。</p> <p>青島はもと馬島、またの名は沖水無瀬島といい無人島であった。寛永16（1639）年、播磨国坂越浦（現兵庫県赤穂市坂越）の与七郎という者が、一族及び家僕16戸を率いて移住してきた。以来盆踊りとして踊り継がれてきたといわれる。</p> <p>構成は、口説き手5名、大太鼓1名、囃子手5名、踊り手は各戸から1名ずつ出されていた。</p> <p>現在は、13日に「賤ヶ岳七本槍」の装束で魚の供養としての大漁踊りを、14日に「赤穂四十七士」の装束でその年に亡くなった人の霊を慰める亡者踊りを、それぞれ行っている。踊りの種類には「白石踊り」「三つ拍子」「きりあい」「いなおさえ」「笠踊り」「綱ひき」「木山踊り」などがあり、全体的に赤穂の郷愁を感じ起こすような出し物や演出が多い。</p>		

